

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地			
ミス・パリ・ビューティ専門学校 大宮校		平成24年3月30日		浅賀 寿美		〒 330-0803 (住所) 埼玉県さいたま市大宮区高鼻町1丁目46番地 (電話) 048-640-6411			
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地			
学校法人ミスパリ学園		平成20年3月26日		下村 朱美		〒 461-0005 (住所) 愛知県名古屋市中区東桜1丁目8番地3号 (電話) 052-957-6341			
分野	認定課程名	認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度			
衛生	専門課程(衛生)	トータルビューティ学科		平成26(2014)年度	-	平成27(2015)年度			
学科の目的	企業で実践されている技術、理論及び社員研修の一部をカリキュラム化し、学校に導入することにより、企業の求める人材育成が可能となり、より職業に直結した実践教育を行うことを目的とする								
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	サービスマナー検定・パーソナルカラー検定・ネイル検定・ジェルネイル検定・ダイエットアドバイザー検定・ビューティアドバイザー検定・ビューティセラピスト検定・美容ライフト脱毛検定・IPSNビューティセラピスト検定等								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入		2,085 単位時間	1,035 単位時間	0 単位時間	1,050 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
				単位	単位	単位	単位	単位	単位
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)					
160人	124人	0人		0%					
就職等の状況	■卒業生数(C)		40人						
	■就職希望者数(D)		38人						
	■就職者数(E)		38人						
	■地元就職者数(F)		2人						
	■就職率(E/D)		5%						
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		5%						
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		5%						
	■進学者数		0人						
	■その他								
	他業種志望の為		(令和4年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報)						
■主な就職先、業界等		(令和4年度卒業生) エステティック企業(ミス・パリグループ、(株)メディビューティ、FAVOPIX(株)等)、美容企業(ISETAN MIRROR、(株)シーボン等)、ネイル企業(株)エヌ・アイ・シー等)							
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価:		無						
※有の場合、例えば以下について任意記載		評価団体:		受審年月:		評価結果を掲載したホームページURL			
当該学科のホームページURL	https://www.miss-paris.ac.jp/omiya/course/totalbeauty/								
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A:単位時間による算定)		総授業時数		60 単位時間				
			うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		60 単位時間				
				うち企業等と連携した演習の授業時数		6 単位時間			
				うち必修授業時数		6 単位時間			
				うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		0 単位時間			
				うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		6 単位時間			
				(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		60 単位時間			
		(B:単位数による算定)		総授業時数		単位			
				うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		単位			
				うち企業等と連携した演習の授業時数		単位			
				うち必修授業時数		単位			
				うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		単位			
				うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		単位			
				(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		単位			
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者		(専修学校設置基準第41条第1項第1号)		5人				
	② 学士の学位を有する者等		(専修学校設置基準第41条第1項第2号)		0人				
	③ 高等学校教諭等経験者		(専修学校設置基準第41条第1項第3号)		0人				
	④ 修士の学位又は専門職学位		(専修学校設置基準第41条第1項第4号)		0人				
	⑤ その他		(専修学校設置基準第41条第1項第5号)		6人				
	計				11人				
	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数				6人				

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ①企業で行っている教育内容の一部を学校プログラムに導入し、技術レベルの高い教育を行うことにより、即戦力人材を育成する
- ②就職のミスマッチを未然に防ぐ為に、より実践的な教育内容とする
- ③定期的に教育プログラムの見直しを行い、学校、企業のニーズを相互確認する

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会にて、新しい知識や技術、接客マナーなど社会人として必要とされていることについて意見交換を実施し、学校関係者評価委員会の評価結果と併せて、学校主導でカリキュラムの工夫や改善を検討する。教育課程編成委員会で検討したカリキュラムに基づき、学校主導でカリキュラムの見直し及び決定を行う

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
越川 治枝	株式会社シェイプアップハウス 教育部部長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③
本鍋田 あゆみ	日本スパ・ウエルネス協会 副理事長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	①
須賀谷 映子	日本スパ・ウエルネス協会 教育委員長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	①
宇賀神 亜季	ミス・パリ・ビューティ専門学校 教育課主任	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	—
浅賀 寿美	ミス・パリ・ビューティ専門学校大宮校 校長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	—
榎本 紋子	ミス・パリ・ビューティ専門学校大宮校 副校長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(7月、12月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年7月15日 10:00～12:00

第2回 令和5年12月12日 10:00～12:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

企業での昨今の課題として、従業員のリスク管理能力や接客意識の低下が問題となっており、実際のサロンを想定した環境づくりや安全性の確保についての意識改革、更に学生の自主性を育てる教育に力を入れて欲しいとの依頼があった。これを受けて、実際にあったサロントラブル事例を教材に、その対処法や予防策について学ぶ授業を導入した

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

- ① 実践的な技術、理論を修得し、即戦力人材を育成する
- ② 技術理論の修得に加え、「マナー」、「コミュニケーション力」を学ぶ事により、接客業に不可欠な社会的基礎力を習得する

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

- ① 企業の社員が先輩として、現場で経験した失敗例、成功例、失敗から学んだ事、アドバイス等を含める
- ② 現場で通用する技術・知識の実習プログラムとレベル試験を、新入社員研修と同様に行う
- ③ 現場顧客の要求等の最新情報を伝える
- ④ 企業教育担当者が最終評価表に基づき、各種技術・接客マナーについて学生の評価を行う

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
ボディ技術実習	実際のサロンで起こった事例等を基に、エステティシャンとして必要なボディトリートメントの各種技術及び接客マナーについてレベルアップを図り、より実践的な仕事の理解と感性を高める。	株式会社シェイプアップハウス 越川 治枝氏
フェイシャル技術実習	実際のサロンで起こった事例等を基に、エステティシャンとして必要なフェイシャルトリートメントの各種技術及び接客マナーについてレベルアップを図り、より実践的な仕事の理解と感性を高める。	株式会社シェイプアップハウス 越川 治枝氏
関連技術実習 メイクアップ	業界で数多くのパフォーマンスや講習実績をもつインストラクターより、メイクアップの基礎知識と技術を学び、現状の美容業界で求められるメイクアップスキルの習得と接客マナーの指導に取り組む。	ICAM日本支部額賀 千尋氏
関連技術実習 ネイル	業界メーカーのインストラクターを招き、ネイル総合理論や実技を学び、実際のサロンで求められる技術力の習得や作品作りの感性を磨く。現在サロンでおきる問題なども踏まえ、今後の戦力知識を習得する。	株式会社 ノンストレス石川 絵美氏
関連技術実習 パーソナルカラー/トータルビューティネイト	企業等への講師経験を持つインストラクターより、色彩や視覚効果についての基礎知識や応用方法について学ぶ。美容技術への応用のみならず、各企業での成功例や失敗例を基に色彩効果を生かしたデザインやディスプレイ方法への理解も深める。	株式会社パーソナルカラー研究所 佐藤 敬子氏

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

ミス・パリ・ビューティ専門学校大宮校教育課程編成委員会規程に基づき、研修は、教職員に対して、現在就いている職または将来就く事が予想される職に係る職務の遂行に必要な知識、技能等を習得させることにより、その業務の遂行に必要な教職員の能力、資質等の向上を図ることを目的とする。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	第19回スパ・ウエルネス学術会議	連携企業等:	特定非営利活動法人 日本スパ・ウエルネス協会
期間:	2023年5月18日(木)	対象:	特定非営利活動法人 日本スパ・ウエルネス協会 会員
内容	株式会社 資生堂にて研究や開発に携わる要職を歴任された石館周三様に『Evidence Based Cosmetics 美のエビデンスについて』と題し、【美】や【快】といった主観的な要素をもつ美容の世界における、科学に基づく客観的な根拠を確立する難しさについて、ご自身の経験や最新の知見を交えて講演いただきました。		
研修名:	2023年8月 認定校講師研修会	連携企業等:	特定非営利活動法人 日本スパ・ウエルネス協会
期間:	2023年8月10日(木)	対象:	特定非営利活動法人 日本スパ・ウエルネス協会 会員
内容	『個人に合わせた適切な食事指導について』と題し、生活習慣や年齢、体型別の食事指導方法について深く学んだ		
② 指導力の修得・向上のための研修等			
研修名:	第19回スパ・ウエルネス学術会議	連携企業等:	特定非営利活動法人 日本スパ・ウエルネス協会
期間:	2023年5月18日(木)	対象:	特定非営利活動法人 日本スパ・ウエルネス協会 会員
内容	帝国ホテル 東京総支配人・代表取締役社長・同会長を歴任された小林哲也様に『帝国ホテル133年の歴史とおもてなしの心』と題し、現場で必要とされる人間力・心構え・リーダーの姿勢など、お客様に求められる『おもてなしの心』について熱心に講演いただきました。		
研修名:	2023年8月 講師研修会	連携企業等:	(株)シェイプアップハウス
期間:	2023年7月31日(月)	対象:	学校法人ミスパリ学園教員
内容	株式会社シェイプアップハウス教育部講師より、現場で求められる技術力をテーマに、学園講師の技術力向上と実技指導方法の統一を図った。		

研修名:	ビューティ&ウェルネス研究所 第20回研究会	連携企業等:	ビューティ&ウェルネス研究所
期間:	2023年9月20日(水)	対象:	学校法人ミスパリ学園関係者
内容	株式会社アルテ サロン ホールディングス 代表取締役会長CEO吉田直樹氏の『美容業界の未来への道:時代の転換期における挑戦と価値創造』と題した講演を拝聴。今後の美容業界において必要とされる人材像・能力について理解を深めた。		
(3)研修等の計画			
①専攻分野における実務に関する研修等			
研修名:	ビューティ&ウェルネス研究所 第21回研究会	連携企業等:	ビューティ&ウェルネス研究所
期間:	2023年11月15日(水)	対象:	学校法人ミスパリ学園関係者
内容	公益社団法人 日本アロマ環境協会(AEAJ)理事長/アロマサイエンス研究所所長 熊谷 千津氏による『アロマ研究最前線~ビューティ&ウェルネス分野におけるアロマの可能性~』と題した講演に参加予定。サイエンスの視点からアロマが持つ可能性及びその効果的な活用法について学ぶ予定。		
研修名:	ビューティ&ウェルネス研究所 第21回研究会	連携企業等:	ビューティ&ウェルネス研究所
期間:	2023年11月15日(水)	対象:	学校法人ミスパリ学園関係者
内容	元経済産業省 中小企業庁長官 前田 泰宏氏より『美のトライアングル』と題し、自然、現場、経営において、独自の美を保有する日本の美学について学ぶ予定。		
②指導力の修得・向上のための研修等			
研修名:	2023年12月 講師研修	連携企業等:	(株)シェイプアップハウス
期間:	2023年12月22日(金)	対象:	学校法人ミスパリ学園教員
内容	株式会社シェイプアップハウス教育部講師より、現場で求められる技術力をテーマに、学園講師の技術力向上と実技指導方法の統一を図る。		
研修名:	2024年3月 認定校講師研修	連携企業等:	特定非営利活動法人 日本スパ・ウェルネス協会
期間:	2024年3月	対象:	特定非営利活動法人 日本スパ・ウェルネス協会 会員
内容	資格試験内容及びテキスト改訂に伴う、認定講師の美容分野における知識・技能の更新及び習得を図る。		

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学校関係者として、関連企業などを含む学校関係者評価委員会を組織し、其々の知見を活かした教育内容・学校運営等について評価を行っている。評価内容はISO管理と連携して、教育活動及び学校運営等の組織の継続的な向上に活用されている

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	学校のビジョン及びそれを実現するための方針作成並びに理解
(2)学校運営	事業計画等に沿った運営方針の策定
(3)教育活動	教育内容は、教育理念・教育目標との一貫性
(4)学修成果	学生の就職に関する目標設定、その成果
(5)学生支援	学生の心身面での管理体制
(6)教育環境	教育目標達成に必要な施設、設備、教材の整備
(7)学生の受入れ募集	学生募集の計画性、その成果
(8)財務	適正な予算執行
(9)法令等の遵守	法令や専修学校設置基準の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	学校の教育資源・施設を活用した社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	留学生規程の整備

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

2022年度も新型コロナウイルス感染症の影響下にあったが、学生満足度を下げることなく、入学者数の増加や全希望者の就職内定を獲得したことは、評価委員からも一定の評価をいただいた。他方で、脱コロナ禍を見据えた準備を行ってきたが、非接触を求められた3年間に及ぼした、生活環境や学生の心身に与えた影響は大きく、学生の生活習慣や考え方も変化してきている。その為、ただ単にコロナ禍以前の教育環境・教育水準に戻すのではなく、今の学生の状況や心境に寄り添った新しい教育環境を模索する必要があるとのご指摘をいただいた。学生・教職員はもちろん、関連企業や業界団体からのご意見等も幅広く収集し、今後の学校運営に役立てていく。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
平山 浩篤	株式会社シェイプアップハウス 取締役副社長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員
杉原 昭二	学校法人ミスパリ学園 理事・評議員	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	学校評議員
東 千晶	学校法人ミスパリ学園 理事・評議員	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	学校評議員
須賀谷 映子	NPO法人 日本スパ・ウエルネス協会 教育委員長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	業界団体等委員
越川 治枝	株式会社シェイプアップハウス教育部部長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.miss-paris.ac.jp/omiya/info/>

公表時期: 2023/8/20

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

当該学科は、即戦力人材を育成、輩出することを基本方針としていることから、卒業生の就職状況、資格取得状況等を企業に定期的に報告し、教育連携の成果を確認する

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の沿革。教育理念
(2)各学科等の教育	目指せる資格。卒業後の進路
(3)教職員	講師紹介
(4)キャリア教育・実践的職業教育	最先端の技術を学ぶ。洗練された美のプロフェッショナルを育成
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事。最先端の設備
(6)学生の生活支援	学生寮
(7)学生納付金・修学支援	奨学金制度の充実
(8)学校の財務	決算概要報告
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果報告
(10)国際連携の状況	留学生規定の整備
(11)その他	ボランティア活動、地域貢献

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.miss-paris.ac.jp/omiya/info/>

公表時期: 2023/8/20

授業科目等の概要

#REF!	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時間数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
1	○			一般科目	伝承美学	1通・2通	60	4	△		○	○			○	○	
2	○				表現・芸術文化論	1通・2通	165	11	○			○				○	○
3	○				ビジネス実務基礎	1通・2通	165	11	○			○		○			
4	○			専門科目	フェイシャル総合理論	1通・2通	135	9	○			○		○			
5	○				ボディ総合理論	1通・2通	105	7	○			○		○			
6	○				関連技術各論（メイクアップ・ネイル・脱毛・アロマセラピー・リフレクソロジー等）	1通・2通	90	6	○			○		○	○	○	
7	○				健康管理学	1通・2通	60	4	○			○		○			
8	○				心理学	1通・2通	60	4	○			○		○			
9	○				フェイシャル実技理論	1通・2通	60	4	○	△		○		○			
10	○				ボディ実技理論	1通・2通	60	4	○	△		○		○			
11	○				関連技術実技理論（メイクアップ・ネイル・脱毛・アロマセラピー・リフレクソロジー等）	1通・2通	75	5	○	△		○		○	○	○	
12	○				フェイシャル技術実習	1通・2通	360	12		○	△	○		○			
13	○				ボディ技術実習	1通・2通	300	10		○	△	○		○			
14	○				関連技術実習（メイクアップ・ネイル・脱毛・アロマセラピー・リフレクソロジー等）	1通・2通	210	7		○	△	○		○	○	○	
15	○				専門科目（実習）	校内行事	1通・2通	60	2			○	○		○		
16	○					サロン実習	1通・2通	120	4			○	○		○		
合計						16	科目	2085			単位（単位時間）						

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件： 修学年限在学し所定の授業時間数を修了した者が、学校の定める全授業科目について修了認定を受けることによって卒業することができる	1学年の学期区分	2期
履修方法： 全科目履修	1学期の授業期間	22週

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(衛生専門課程トータルビューティ学科ビューティアドバイザーコース) 令和4年度																
分類	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択	授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
									講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
1	○			一般科目	伝承美学	1通・2通	60	4	△		○	○			○	○
2	○				表現・芸術文化論	1通・2通	165	11	○			○			○	○
3	○				ビジネス実務基礎	1通・2通	165	11	○			○		○		
4	○			専門科目	フェイシャル総合理論	1通・2通	135	9	○			○		○		
5	○				ボディ総合理論	1通・2通	105	7	○			○		○		
6	○				関連技術各論(メイクアップ・ネイル・アロマセラピー・ビューティカウンセリング等)	1通・2通	90	6	○			○		○	○	○
7	○				健康管理学	1通・2通	60	4	○			○		○		
8	○				心理学	1通・2通	60	4	○			○		○		
9	○				フェイシャル実技理論	1通・2通	60	4	○	△		○		○		
10	○				ボディ実技理論	1通・2通	60	4	○	△		○		○		
11	○				関連技術実技理論(メイクアップ・ネイル・脱毛)	1通・2通	75	5	○	△		○		○	○	○
12	○				フェイシャル技術実習	1通・2通	360	12		○	△	○		○		
13	○				ボディ技術実習	1通・2通	300	10		○	△	○		○		
14		○		関連技術実習(メイクアップ・ネイル・ヘアアレンジ・着付等)	1通・2通	210	7		○	△	○		○	○	○	
15	○			専門科目(実習)	校内行事	1通・2通	60	2			○	○		○		
16	○				サロン実習	1通・2通	120	4				○	○		○	
合計						16	科目	2085			単位(単位時間)					

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件: 修学年限在学し所定の授業時間数を修了した者が、学校の定める全授業科目について修了認定を受けることによって卒業することができる	1学年の学期区分	2期
履修方法: 全科目履修	1学期の授業期間	22週

- (留意事項)
- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
 - 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。